

5 コハクチョウ

(カモ目)

Cygnus columbianus

兵庫県ランク: C

繁殖個体群:無 越冬個体群:C 通過個体群:C

環境省ランク:

種の概要

シベリア、カムチャツカ、アラスカ、カナダ北部などのツンドラ地帯で繁殖する。繁殖後はヨーロッパ南部や中央アジア、中国中部、日本、北アメリカ南部に渡り、越冬する。日本には秋に渡来し、主に本州、四国、九州で越冬する。内湾、湖沼、河川、水田などに生息し、田の落ちモミや水生植物の根茎などを採食する。大きな群れが定期的に飛来するところでは、人為的に穀類やパンくずなどの給餌を行っているところも少なくない。

国内分布

北海道、南千島、礼文島、利尻島、天売島、本州、飛島、佐渡、舩倉島隠岐、竹島、見島、四国、九州、対馬、五島列島、伊豆諸島、小笠原群島、硫黄列島、奄美諸島、琉球諸島、大東諸島



写真提供：森田俊司

(性別：不明)
左：幼鳥、右：成鳥

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、姫路市、明石市、★伊丹市、★豊岡市、加古川市、赤穂市、★小野市、★加西市、養父市、たつの市、★稲美町、福崎町、★神河町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数 激減	分布域 激減	餌の 可用性 の低下	特殊 競争 圧	特殊 捕食 圧	特殊 繁殖 環境	特殊 採餌 環境	ね特 ぐ特殊 ら休息 環境・	局地的 繁殖	希少
						○	○		○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

県内では主に10-翌4月に生息する。1980年代から小野市、加西市のため池に2桁台の個体数で毎年渡来し、1990年代からは但馬地域の円山川流域にも少数が毎年渡来するようになっている。越冬地では給餌が行われているところが少なくない。最近の高病原性鳥インフルエンザの流行に伴う給餌活動の中止や開発、冬期の溜池の減水等の影響を受け、特に県中部の越冬個体群は急減した。

保護上の留意点

水草が生育する湖沼や河川の保全、人が四方を取り囲めない集団ねぐらの確保が重要。現在の水辺環境下では、人為的な保護がないと生息し難いところはあるが、過度な給餌は自然分布の障害となる。